

I. 2001 年度第 2 回事務局会議

日 時: 11 月 2 日 (金曜日) 15:00-17:00
 場 所: 東大農学部 7 号館 512 号室
 出席者: 宮崎・溝口・井本・関
 議 題: 第 2 回評議員会・総会に向けての準備状況/
 シンポジウム等の申し込み状況/88 号の編集
 進捗状況/その他

II. 2001 年度第 2 回評議員会

日 時: 2001 年 11 月 20 日 (火) 11:35-12:20
 場 所: 東京大学農学部弥生講堂会議室
 出席者: 会長: 宮崎, 評議員: 柏木 (矢沢代理)・柏
 淵・古賀・藤井・加藤・谷山・河野・足立・
 成岡・筑紫・山口・長・溝口 (庶務幹事兼
 務)・他委任状 3, 事務局: 関 (編集幹事)・
 井本 (会計幹事)

議題:

1. 2000 年度会務報告 (土壌の物理性第 88 号掲載に
 同じ)
 追加会務報告: 学術著作権協会「米国税務申請
 書」の提出/学会誌「土壌の物理性」の電子化終
 了/印刷業務に PDF 化を追加委託/日本学術会議
 から土壌物理学学会へのホームページリンク依頼会
 員入退会者および現在会員数等について (報告):
 土壌の物理性第 88 号に掲載)
2. 2000 年度事業報告 (承認)
 期 間: 2000 年度 (2000 年 4 月 1 日~2001 年 3 月
 31 日)
 会 長: 河野英一 (日本大学生物資源科学部)
 事務局: 日本大学生物資源科学部・生物環境工学科
 - 1) 学会誌「土壌の物理性」の 5 回 (83 号, 84 号,
 85 号, 86 号, 87 号) 発行。
 - 2) 第 1 回評議員会の開催 (2000 年 8 月 4 日/鳥
 取県民文化会館)。
 - 3) 第 2 回評議員会の開催 (2000 年 11 月 18 日/
 日本大学生物資源科学部東京校舎)。
 - 4) 評議員選挙の実施 (2000 年 10 月 23 日開票,
 15 名選出, 2001 年 4 月 1 日施行)。
 - 5) 総会の開催 (2000 年 11 月 18 日/日本大学生
 物資源科学部東京校舎)。
 - 6) 第 42 回シンポジウム (テーマ「新世紀の土壌
 物理研究に向けて」) の開催 (2000 年 11 月 18
 日/日本大学生物資源科学部東京校舎/参加者
 約 110 名)。
 - 7) ポスターセッション (テーマ「土壌物理研究

の最前線」) の開催 (2000 年 11 月 18 日/日本
 大学生物資源科学部東京校舎/報告数 12 課
 題)。

- 8) 業務委託
 - ・2000 年度から会員管理等の学会事務の軽減
 を図るために, それらの業務の一部を「財団
 法人 日本学会事務センター」に委託。
 - ・2000 年度においては, 次の引継業務 (初年度
 のみ) のみ。
 - ① 委託開始事務業務 (事業者との契約に関わ
 るもの)
 - ② 引継原簿作成業務
- 9) 40 周年記念事業 (改訂版土壌物理用語事典出
 版)
3. 用語事典の進捗状況 (報告)
 土壌物理学学会編 (養賢堂発行)「改訂版土壌物理用
 語事典」の編集 (中間報告)
 - 1) 目次
 第 1 章 土壌調査・土壌特性の空間的変動 (標
 題検討中)/第 2 章 土壌一般/第 3 章 土壌構
 造/第 4 章 土壌水/第 5 章 溶質移動/第 6 章
 土壌空気/第 7 章 土壌の温度・熱/第 8 章 土
 壌の力学性/第 9 章 土壌の生物性/第 10 章
 水文/第 11 章 土壌保全/第 12 章 機械作業/
 第 13 章 灌漑排水/第 14 章 農地造成・整備/
 第 15 章 環境保全/巻末データ集 (農耕地土壌
 の物理性, 農耕地土壌分類対照表)/和文索引,
 英文索引
 - 2) 容量
 章 数: 全 15 章
 大 き さ: A5 版
 本 文: 165 ページ (37 字×40 行×165 頁=
 244,200 字, 第三次編集版)
 図表概数: 図 50, 表 20
 索 引: 和単語 3,200 語 (概数), 英単語 1,400
 語 (概数)
 関係者数 (執筆, 編集, 閲読): 計 78 名 (01/11/
 6 現在)
 - 3) 年内の日程
 01/11/05 閲読依頼状発出開始
 01/12/08 閲読報告〆切
 編集委員会開催 (日程と場所は未定)
 01/12/ 中旬 索引用語の対訳語 (英語) の閲読
 01/12/ 中旬 細部調整, 第四次編集版作成およ
 び編集委員への発送

01/12/ 末 編集幹事会（作業工程、養賢堂編集部への入稿手続き、発行までの諸手続等に関する打ち合わせ）

4. 2000 年度決算報告（承認）

会計監査報告を含む

2001 年 3 月 31 日

土壤物理学会

会長 河野英一様

土壤物理学会

会計監査

おん 川 吉雄

小川 吉雄

会計監査報告書

2000 年度、土壤物理学会会計の収入支出決算書ならびに関係帳簿類について、2001 年 3 月 31 日に厳正に監査をおこなった結果、それらの執行は適正であり、提出のとおり相違ないことを確認した。

5. 平成 13 年度事業計画（承認）

期 間：2001 年度（2001 年 4 月 1 日～2002 年 3 月 31 日）

会 長：宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）

事務局：東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻

- 1) 学会誌「土壤の物理性」の 3 回（88 号、89 号、90 号）発行
- 2) 第 1 回評議員会の開催（2001 年 7 月 27 日/ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング）
- 3) 第 2 回評議員会の開催（2001 年 11 月 20 日/東京大学弥生講堂）
- 4) 総会の開催（2001 年 11 月 20 日/東京大学弥生講堂）
- 5) 第 43 回シンポジウム（テーマ「土壤の汚染と浄化における土壤物理学の貢献」）の開催（2001 年 11 月 20 日/東京大学弥生講堂）
- 6) ポスターセッション（テーマ「土壤物理研究の最前線」）の開催（2001 年 11 月 20 日/東京大学弥生講堂）
- 7) 業務委託
2000 年度から会員管理等の学会事務の軽減を図るために、それらの業務の一部を「財団法人 日本学会事務センター」に委託。

2001 年度においては、次のような業務を委託。

(1) 会員業務

- ① 会員管理業務
- ② 学会費徴収および学会誌年 3 回発送業務
- ③ 新入会登録業務
- ④ 住所変更等業務
- ⑤ 特別請求業務（賛助会員、海外会員宛請求書作成と入金処理等）
- ⑥ 団体会員宛請求書作成と入金処理等業務
- ⑦ 追加発送業務

(2) その他の業務

- ① バックナンバー保管業務
- ② 講読・バックナンバー販売業務
- ③ 複写（コピー）業務
- 8) 40 周年記念事業（改訂版土壤物理用語事典出版）
- 9) 学会賞・論文賞等の新設準備委員会の設立
優秀 PhD 賞など、委員長候補：藤井克己（岩手大）

6. 平成 13 年度予算（承認）

7. 学会編集委員会報告

8. 会則の改正

(旧) 第 5 条 購読会員 会誌年額 7,000 円

(新) 第 5 条 購読会員 会誌年額 7,500 円

(旧) 附則 本学会の連絡先：日本大学

(新) 附則 本学会の連絡先：東京大学

9. その他

土壤物理学会ポスター発表におけるレフリー制の導入について（継続審議）

Ⅲ. 2001 年度総会

日 時：2001 年 11 月 20 日（火）12：30-13：00

場 所：東京大学農学部弥生講堂一条ホール

出席者：約 50 名

議 長：藤井克己

議 題：評議員会の内容と同じ

1. 会務報告（承認）
2. 平成 12 年度事業報告（承認）
3. 平成 12 年度決算報告（承認）
・会計監査報告
4. 平成 13 年度事業計画（承認）
5. 平成 13 年度予算（承認）
6. 学会編集委員会報告
7. 会則の改正（承認）

IV. 第43回土壌物理学会シンポジウム

日 時：2001年11月20日（火）

場 所：東京大学農学部弥生講堂

参 加 者：約150名

詳細情報：<http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jssp/symp/index.html>

1. テーマ 「土壌の汚染と浄化—土壌物理学の貢献—」

座長：鈴木 創三（東京農工大学）・成岡 市（岡山大学）

- 1) 土壌の汚染と浄化の問題，岡崎正規（東京農工大）
- 2) 土壌環境基準の考え方，藤井国博（東京農業大学）
- 3) 浄化技術の開発と浄化事業への適用，藤原靖（大成建設）
- 4) オンサイト浄化事例と今後の課題，川端淳一（鹿島技術研究所）
- 5) 土壌浄化のための基礎科学，藤縄克之（信州大学）

総合討論 司会：鈴木創三（東京農工大学）・成岡市（岡山大学）

2. ポスターセッション 「土壌物理研究の最前線 Trend in Soil Physics」

- 1) 「土壌の物理性」検索システム，溝口 勝（東京大学大学院）
- 2) フィンガー流の膨張にともなう湿潤領域の時間変化，川本 健・間篠暁子・小田匡寛（埼玉大学工学部）・宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 3) フィンガーの発生と形状特性に関する研究，間篠 子・川本 健・小田匡寛（埼玉大学工学部）・宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 4) 圃場管理形態の異なる黒ボク土畑で生じる浸透形態の違い，宮本輝仁（九州沖縄農業研究センター）・小林政広（森林総合研究所九州支所）
- 5) 一方向凍結法による土壌の浄化，渡辺晋生（三重大学生物資源学部）
- 6) 2：1型粘土鉱物の塩濃度変化における分散・凝集，鈴木真知子・西村 拓（東京農工大学農学研究科）
- 7) 蒸発に伴う土壌水の安定同位体比に関する考察，藪崎志穂・田瀬則雄（筑波大学地球科学系）

- 8) 動電現象を利用した地下水土壌汚染の修復における物質輸送モデリング，中川 啓（九州大学農学研究院）・和田信一郎（九州大学農学研究院）・榎井和朗（鹿児島大学農学部）
- 9) 家畜ふん堆肥の水洗による含有成分濃度の低減化，板橋 直（独）農業環境技術研究所化学環境部・栄養塩類研究グループ）
- 10) 土壌中における水・熱・溶質の1次元移動シミュレーションソフト WASH-1D，藤巻行（筑波大学農林工学系）・井上光弘（鳥取大学乾燥地研究センター）
- 11) 土壌圧縮による構造変化と透水性変化に関する研究，石塚真記子・宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 12) Laboratory and Field Analysis of EH2O Water Content Sensors, Colin S. Campbell・Gaylon S. Campbell・Bryan T. Wacker (Decagon Devices, Inc., Pullman, WA USA)
- 13) 分配トレーサーによる土壌・地下水の汚染予測に関する研究，石崎慎也・溝口 勝・宮崎毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 14) バイオベンティングが汚染土壌中の微生物及びガスの挙動に及ぼす影響—バッチ試験による検証，須甲武志・井本博美・溝口 勝・宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 15) 静水中における小フロックの沈降特性の解析法について，木野孝子・足立泰久（筑波大学農林工学系）
- 16) 非定常流出法を用いた逆解析による不飽和透水性の決定，山中 勇・西村 拓・加藤 誠（東京農工大学大学院農学研究科）

V. 2000年度会計収入・支出決算と会計報告

(1) 2000年度会計収入・支出決算

収入の部

自2000.4.1
至2001.3.31

項目	予算額	決算額	増減	内訳
繰越金	5,203,524	5,203,524	0	
正会員会費	2,532,950	956,000	▲1,576,950	2000年度, 約140人 765,500 滞納分 124,500 2001年度以降分 66,000
学生会員	84,000	38,500	▲45,500	2000年度, 11人 35,500 2001年度分 3,000
購読会員	525,875	366,250	▲159,625	2000年度分 98,000 滞納分 254,250 2001年度分 14,000
賛助会費	409,500	246,660	▲162,840	
出版物売上	100,000	668,830	568,830	
雑収入	100,000	278,265	178,265	
合計	8,955,849	7,758,029	▲1,197,820	

▲: 収入減

支出の部

項目	予算額	決算額	増減	内訳
会誌製作費	4,500,000	2,877,479	▲1,622,521	会誌83, 84, 85, 86号発行料等
総会費	350,000	197,790	▲152,210	総会, シンポジウム開催費等
通信費	300,000	241,490	▲58,510	原稿, 請求書送付料等
文具費	150,000	88,835	▲61,165	封筒代等
賃金	150,000	161,600	11,600	業務手伝料等
交通費	200,000	13,000	▲187,000	幹事会交通費等
会議費	100,000	36,730	▲63,270	評議委員会昼食代等
幹事手当	120,000	80,000	▲40,000	幹事2人分(2年度分)
編集委員会費	200,000	0	▲200,000	会誌査読料等
40周年記念事業費	600,000	44,334	▲555,666	土壌物理用語事典出版関係費
選管委員会費	350,000	199,790	▲150,210	名簿製作費, 投票用紙・名簿送付料等
業務委託費	900,000	243,285	▲656,715	会員管理委託費 (助) 日本学会事務センターへ
学会運営積立金	1,000,000	0	▲1,000,000	学会賞設立及び学会運営業務委託化等のため
予備費	35,849	310	▲35,539	
次年度繰越金	—	3,573,386	—	
合計	8,955,849	7,758,029	▲1,197,820	

▲: 支出減

次年度繰越金の所在

郵便振替口座	1,822,143
郵便貯金口座	13,698
銀行口座(事務局)	1,035,764
現金(事務局)	145,991
銀行口座	
(40周年記念事業費)	409,284
現金	
(40周年記念事業費)	146,506
合計	3,573,386

VI. 2001 年度予算

収入の部

自 2001.4. 1
至 2002.3.31

項 目	予 算 額	備 考
繰 越 金	3,573,386	(2001 年度分 2,585,000 + 未回収分 2,593,000) × 0.7 = 3,624,600
正 会 員 会 費	3,624,600	(2001 年度分 87,000 + 未回収分 84,000) × 0.7 = 119,700
学 生 会 員 会 費	119,700	(2001 年度分 406,000 + 未回収分 385,000) × 0.7 = 553,700
購 読 会 費	553,700	(2001 年度分 247,500 + 未回収分 337,500) × 0.7 = 409,500
賛 助 会 費	409,500	
出 版 物 売 上	100,000	
雑 収 入	100,000	
合 計	8,480,886	

収入の部	単 価	人 数	2001 年度分	未 回 収
正 会 員 会 費	5,500	470	2,585,000	2,593,000
学 生 会 員 会 費	3,000	29	87,000	84,000
購 読 会 費	7,000	58	406,000	385,000
賛 助 会 費	22,500	11	247,500	337,500

支出の部

項 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 誌 製 作 費	3,600,000	4,500,000	▲900,000	会誌 87, 88, 89, 90 号発行料等
総 会 費	350,000	350,000	0	総会, シンポジウム開催費等
通 信 費	300,000	300,000	0	原稿, 請求書送付料等
文 具 費	150,000	150,000	0	封筒代等
賃 金	200,000	150,000	50,000	業務手伝料等
交 通 費	200,000	200,000	0	幹事会交通費等
会 議 費	100,000	100,000	0	評議員会昼食代等
幹 事 手 当	60,000	120,000	▲ 60,000	幹事 6 人分
編 集 委 員 会 費	200,000	200,000	0	会誌査読料等
40 周 年 記 念 事 業 費	555,666	600,000	▲ 44,334	土壤物理用語事典出版関係費
選 管 委 員 会 費	0	350,000	▲350,000	2001 年度評議員選挙なし
業 務 委 託 費	900,000	900,000	0	会員管理委託費等
学 会 運 営 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	学会賞設立及び学会運営業務委託化等のため
予 備 費	865,220	35,849	829,371	
合 計	8,480,886	8,955,849	▲474,963	

▲: 当年度減

VII. 会員入会退会者及び現在会員数 (2001.4-2001.9)

(1) 入会者 (2001.11~2002.1)

正会員: 1名

- ① 渡辺晋生 三重 三重大学
生物資源
学部

学生会員: 1名

- ① 石塚真記子 東京 東京大学
大学院農
学生命科
学研究科

(2) 退会者 (2001.11~2002.1)

正会員: 1名 氏名

- ① 吉野 喬 茨城

購読会員: 1

- ① 全国大学生協同組合連合会
東京

(3) 現会員数 (2002.1.25 現在)

会員内訳

正会員	: 443名
学生会員	: 26名
購読会員	: 61機関 (店舗含む)
賛助会員	: 11社
海外会員	: 5名
海外購読会員	: 0
合計	: 546名

訂正

以下の論文に訂正がありました。訂正を御願いたします。

土壤の物理性第88号の p. 3~9 泥炭土の透水係数及び保水性について の論文

Abstract 第4行目 vertical saturated hydraulic conductivity を
horizontal saturated hydraulic conductivity に訂正

第5行目 horizontal saturated hydraulic conductivity を
vertical saturated hydraulic conductivity に訂正

第14行目 carve を curve に訂正